

健康相談 薬局にお任せ

県と県薬剤師会は「薬と健康の週間」(17～23日)に合わせて、県内の薬局を健康相談で気軽に訪れてもらうためのキャンペーンを始めた。県の調査では、薬局を処方薬の受け取り以外で利用しないという人が増えているため、健康相談を積極的に受け付けることを宣言するポスターを店舗に掲示し、アピールしている。

県によると、15日現在、県内の薬局約1800カ所のうち、939カ所が宣言のポスターを掲示している。健康相談に関する宣言

の内容は、薬局ごと決めることができる。「在宅医療や介護に関する相談も受けたいです」「管理栄養士による食事面のサポートもできます」「相談タイムを設けています」などで、各薬局の宣言内容を県ホームページからも確認できる。

県のインターネットモニター(572人)を対象にした7月の調査では、薬局

県薬剤師会が「宣言」



を利用する理由は「処方箋をもらったとき」が94%で圧倒的に多かった。健康相

薬局内に張られた宣言ポスター＝15日午後、静岡市葵区

談をしたことがある人は15%だけで、相談したことはない84%のうち、34%は相談できること自体を知らなかった。

県薬剤師会理事の河西きよみさんは「最近では病院併設の薬局で薬を受け取ることが多く、自宅近くの『まちの薬局』を訪れる機会が減った」と指摘。今回のキャンペーンが「気軽に健康面の困り事を相談できる『かかりつけ薬剤師』を見つけたらいいなれば」と期待している。

(政治部・山下奈津美)